

日銀グランプリは、日本銀行が主催する、学生の皆さんを対象とした金融経済分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。第1回では、計49篇の応募をいただきました。今回も、多くの皆さんのチャレンジをお待ちしています！

応募要領

■応募資格

現在、大学（短大を含む）および専修学校専門課程などに在籍の方（大学院生は除く）。3人1組のグループでご応募ください。

■テーマ

「日本の“金融力”を高めるために ～3つの視点から～」

現在の日本の「金融」が抱える問題は何か、それを乗り越える（＝金融力を高めていく）ために今最も求められるものは何か。皆さんが日常生活の中で、あるいは金融・経済についての勉強を進める中で感じたこと、考えたことを出発点に、次の3つの視点のいずれかに立て率直に論じてみてください。

視点1 個人・企業と金融との関わり …… 金融の利用者である個人または企業にとって今何が最も求められているか。

視点2 教育の果たす役割 …… 金融の機能が十全に発揮されるために、教育が果たすべき役割は何か。

視点3 中央銀行・金融政策への期待 …… 日本の金融力向上のために中央銀行および金融政策に求められるものは何か。

■応募規定

- ・ 予選（書類審査）……視点1～3のいずれかを選んだ上で、題名をつけ、日本語でA4（タテ置き、横書き）×5枚以内（1枚につき35字×35字）の小論文としてまとめてください。応募に際しては、専用の応募用紙（下記参照）を添付してください。
※応募は未発表のものに限ります。他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。注釈、図表、参考文献などは枚数に含みません。
- ・ 厳正な審査を経て、決勝進出チーム（5チーム程度）が選ばれます。
- ・ 決勝……2006年12月にプレス公開で開催します。日本銀行本店（東京）にて論文要旨のプレゼンテーション（15分程度）と審査員との質疑応答（15分程度）を予定しています。日程などの詳細は、決定次第、下記ホームページで公表します。

■審査方法

- 【書類審査】現状の把握・分析の的確性、着眼点や提言の独創性・実効性、論旨および提言の論理性・説得性、といった諸点に照らして、決勝進出チームを厳正に選定します。
- 【決勝審査】書類審査のポイントに加え、プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

■審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者（計5名程度。審査員長は岩田副総裁を予定）。

■賞

最優秀賞／1チーム（楯、賞状、図書券15万円）
優 秀 賞／2チーム（楯、賞状、図書券3万円） ※この他に敢闘賞および佳作を選定することがあります。
—— 賞は上記の視点別ではなく、応募作品全体の中から選定します。

■応募締切

2006年10月10日（火）※必着

■応募方法

専用の応募用紙を日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）から入手、小論文に添付の上、電子メールまたは郵送にてご応募ください。
※ 応募者の個人情報、日銀グランプリ関係の連絡、発表以外の用途には使用しません。

■応募・問合せ先

【 郵 送 】〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係
【 Tel 】 03-3277-2168（土・日・祝日を除く10時～17時） 【 Fax 】 03-5203-8703
【 E-mail 】 post.prd3@boj.or.jp

■注意事項

- ・ 入賞論文は日本銀行のホームページ、日本銀行調査季報などに掲載することがあります。
- ・ 提出論文の著作権は主催者（日本銀行）に帰属します。
- ・ 二重投稿はご遠慮ください。
- ・ 提出物は返却いたしません。
- ・ 応募規定の内容を満たさない論文は選外となります。
- ・ 選考過程についてのお問合せには応じかねますので、ご了承ください。

～「第1回 日銀グランプリ」決勝から～



※日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）に、第1回の上位入賞論文、審査員の講評などを掲載していますので、ぜひご覧ください。